

感染状況・医療提供体制の分析(9月28日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月21日時点)	現在の数値 (9月28日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	7680人 (409.2人)	5862人 (312.3人)	→
		60歳以上 (総数に占める割合)	1014人 (13%)	826人 (14%)	→
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	3086人	2058人	→
		倉敷市保健所	1996人	1428人	→
		備前保健所	603人	658人	→
		備中保健所	975人	914人	→
		備北保健所	183人	142人	→
		真庭保健所	206人	125人	→
		美作保健所	627人	455人	→
		その他		44人	
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	211人 (34%)	163人 (26%)	→	医療提供体制コメント
	④宿泊療養者数	39人	33人	→	新規感染者の減少に伴い、入院患者数や療養者数も減少。医療提供体制への負荷は一部継続しているものの、状況の改善がみられる。
	⑤自宅療養者数	6107人	6443人	→	
	⑥重症者数	4人	5人	→	

感染状況コメント
レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要

新規陽性者は人口10万人当たり312人と減少。クラスターも継続的に発生。
新規陽性者数の減少は継続しているが、連休が続いたためか、減少は緩徐。9/26より全数届出の見直しが行われたり、9/28よりオミクロン株対応ワクチンの接種が県内でも開始されたりと、様々な変化があるが、日常生活の中、個人で行える基本的感染防止策の継続が重要となる。

医療提供体制コメント
レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる